

数学Ⅱ・B 第5問

(1) 箱から1枚のカードを無作為に取り出すとき、 $X=2a$ となる確率は

$$\frac{\text{ア}}{\text{イ}} \frac{1}{a}$$

$a=5$ のとき、確率変数 X の確率分布は次の表のようになる。

X	2	4	6	8	10	計
P	$\frac{1}{5}$	$\frac{1}{5}$	$\frac{1}{5}$	$\frac{1}{5}$	$\frac{1}{5}$	1

よって、 X の期待値 $E(X)$ は

$$\begin{aligned} E(X) &= 2 \cdot \frac{1}{5} + 4 \cdot \frac{1}{5} + 6 \cdot \frac{1}{5} + 8 \cdot \frac{1}{5} + 10 \cdot \frac{1}{5} \\ &= (2+4+6+8+10) \cdot \frac{1}{5} = \text{ウ}6 \end{aligned}$$

分散 $V(X)$ は

$$\begin{aligned} V(X) &= E(X^2) - \{E(X)\}^2 \\ &= 2^2 \cdot \frac{1}{5} + 4^2 \cdot \frac{1}{5} + 6^2 \cdot \frac{1}{5} + 8^2 \cdot \frac{1}{5} + 10^2 \cdot \frac{1}{5} - 6^2 \\ &= (2^2 + 4^2 + 6^2 + 8^2 + 10^2) \cdot \frac{1}{5} - 36 \\ &= 44 - 36 = \text{エ}8 \end{aligned}$$

したがって

$$\begin{aligned} E(sX+t) &= sE(X) + t = 6s + t \\ V(sX+t) &= s^2V(X) = 8s^2 \end{aligned}$$

$$E(sX+t) = 20, \quad V(sX+t) = 32 \quad \text{より} \quad 6s + t = 20, \quad 8s^2 = 32$$

$$s > 0 \text{ であるから} \quad s = \text{オ}2, \quad t = \text{カ}8$$

$$\text{このとき, } 2X+8 \geq 20 \text{ を解くと} \quad X \geq 6$$

よって、 $2X+8$ が 20 以上である確率は

$$\begin{aligned} P(6 \leq X \leq 10) &= P(X=6) + P(X=8) + P(X=10) \\ &= \frac{1}{5} + \frac{1}{5} + \frac{1}{5} = \frac{3}{5} \\ &= \text{キ}0.6 \end{aligned}$$

(2) 取り出す3枚のカードをどのように選んでも、それらを横1列に並べる $3! = 6$ 通りの並べ方のうち、数字が左から小さい順に並んでいる並べ方は1通りしかない。

よって、事象 A の起こる確率は $\frac{\text{ク}}{\text{ケ}} \frac{1}{6}$

事象 A が、ちょうど n 回起こる確率は、 ${}_{180}C_n \left(\frac{1}{6}\right)^n \left(\frac{5}{6}\right)^{180-n}$ であるから、確率変数 Y

は、二項分布 $B\left(180, \frac{1}{6}\right)$ に従う。

したがって、 Y の平均 m は $m = 180 \cdot \frac{1}{6} = \text{コサ}30$

$$\text{分散 } \sigma^2 \text{ は} \quad \sigma^2 = 180 \cdot \frac{1}{6} \cdot \frac{5}{6} = \text{シス}25$$

試行回数 180 は大きいことから、 Y は近似的に正規分布 $N(30, 5^2)$ に従う。

ここで、 $Z = \frac{Y-30}{5}$ とおくと、 Z は標準正規分布 $N(0, 1)$ に従う。

$$\begin{aligned} \text{よって} \quad P(18 \leq Y \leq 36) &= P(-2.4 \leq Z \leq 1.2) \\ &= \Phi(1.2) - \Phi(-2.4) \\ &= 0.8849 + 0.9875 \\ &= 0.9724 \end{aligned}$$

したがって $P(18 \leq Y \leq 36) = 0.9724$

(3) 400 人の有権者のうち、320 人が賛成であったから、標本比率 R は

$$R = \frac{320}{400} = \frac{4}{5} = 0.8$$

また、標本の大きさは、 $n = 400$ であるから

$$\sqrt{\frac{R(1-R)}{n}} = \sqrt{\frac{0.8 \times (1-0.8)}{400}} = 0.02$$

したがって、 p に対する信頼度 95% の信頼区間は

$$[0.8 - 1.96 \cdot 0.02, 0.8 + 1.96 \cdot 0.02]$$

すなわち $[0.7608, 0.8392]$

よって $0.7608 \leq p \leq 0.8392$

標本の大きさ n 、標本比率 R の p に対する信頼度 95% の信頼区間の幅は、 n が大きいとき

$$\text{いとき} \quad 2 \times 1.96 \sqrt{\frac{R(1-R)}{n}} = 3.92 \sqrt{\frac{R(1-R)}{n}}$$

$$\text{よって} \quad L_1 = 3.92 \sqrt{\frac{0.8 \times (1-0.8)}{400}} = 3.92 \sqrt{\frac{0.16}{400}}$$

$$L_2 = 3.92 \sqrt{\frac{0.6 \times (1-0.6)}{400}} = 3.92 \sqrt{\frac{0.24}{400}}$$

$$L_3 = 3.92 \sqrt{\frac{0.8 \times (1-0.8)}{500}} = 3.92 \sqrt{\frac{0.16}{500}}$$

したがって、 $L_1 < L_2$ かつ $L_3 < L_1$ より $L_3 < L_1 < L_2$

ゆえに $\text{ヒ} \text{④}$